

3つのセグメントと5つの事業

機能材料事業

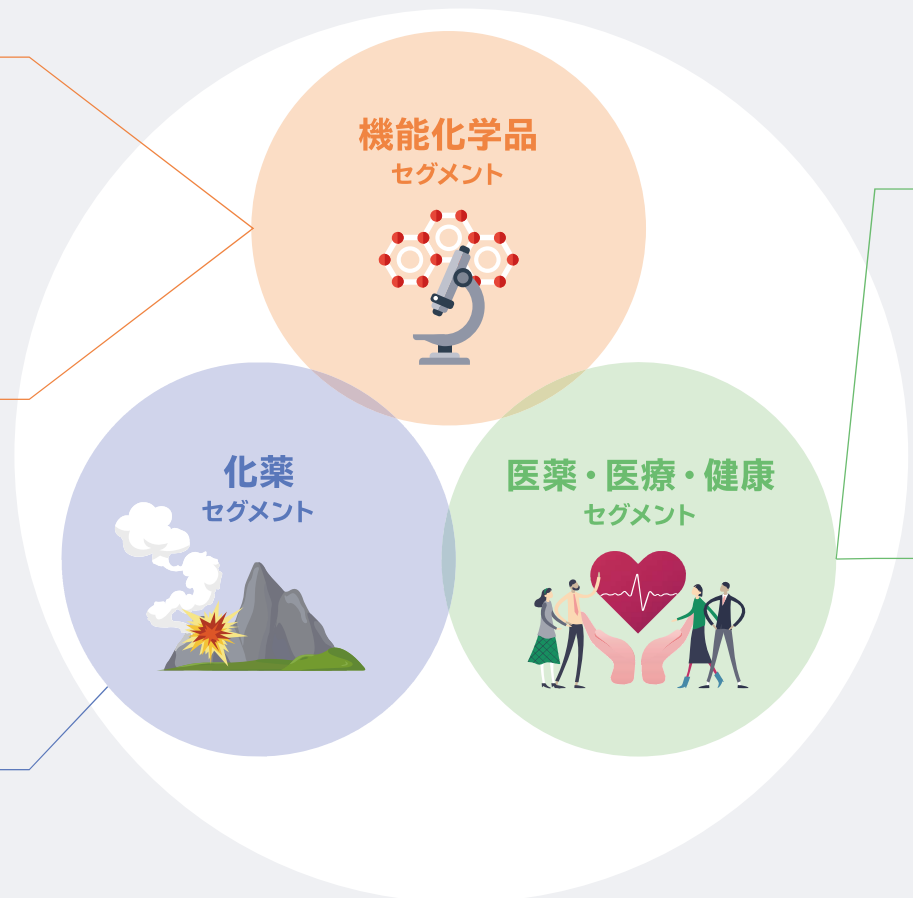
油脂を原料とする各種誘導体や石油化学品を柱として、ライフ・ヘルスケア、環境・エネルギー、電子・情報、それぞれの成長分野へ事業拡大を推進します。

防錆事業

独創的な防錆処理剤を核に、最先端の表面処理技術を蓄積し、自動車部品防錆処理の世界標準に。環境にやさしい表面処理が最優先課題です。

化薬事業

世界有数の総合火薬メーカーとして、最先端のパイロテクノロジーを活用し、産業用爆薬、防衛・宇宙開発、民生品の各事業を推進します。



機能化学品 セグメント



ライフサイエンス事業

技術革新が進むDDS分野を中心に、バイオ医薬品や核酸医薬品の用途向けに機能性の高い素材を開発。また、アイケア、医療用デバイス、診断薬などの分野にも注力します。

機能食品事業

食用油脂の精製・加工技術のパイオニアとして、食用加工油脂と健康関連の事業を展開。機能を基軸とした事業領域へのシフトを進め、食の豊かさと人々の健康に貢献します。

化薬 セグメント



医薬・医療・健康 セグメント



3つのセグメントと5つの事業

セグメント	2023年度の振り返りと2024年度の予測	売上高構成	営業利益構成	業績推移*
機能化学品	化粧品原料の需要が好調なほか、海外向け自動車関連の需要が回復したことで特殊防錆処理剤も増販しました。しかし、トイレタリー関連や中国への冷凍機用潤滑基材の出荷減少により、売上高は減少しました。2024年度も、化粧品原料や自動車関連部品の需要好調が見込まれることから、営業利益は対前年で24億円の上方向かうと予測しています。	<p>2023年度 1,335億円</p>	<p>2023年度 219億円</p>	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p> <p>2020 2021 2022 2023 2024 (年度) (予測)</p>
医薬・ 医療・健康	為替変動による円安で、欧米へのDDS医薬用製剤原料の出荷が好調に推移したほか、原燃料価格の高騰を受け、食用加工油脂の販売価格を改定したことで増益となりました。2024年度は、DDS医薬用製剤原料において、顧客の在庫調整や金融引締めによる臨床開発遅延で需要が停滞したことにより、営業利益は対前年で33億円の下方向と予測しています。	<p>2023年度 539億円</p>	<p>2023年度 205億円</p>	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p> <p>2020 2021 2022 2023 2024 (年度) (予測)</p>
化 薬	ロケット向け製品の出荷が増加したことや、防衛関連製品の需要が好調であることから、売上高は大きく成長しました。2024年度は、戦略投資の推進により固定費は増加するものの、防衛関連製品の受注増加や、H3ロケット試験2号機の打上成功による宇宙関連商品の需要回復に伴い、営業利益は前年並と予測しています。	<p>2023年度 341億円</p>	<p>2023年度 26億円</p>	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p> <p>2020 2021 2022 2023 2024 (年度) (予測)</p>

※2022年度は変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値に更新しています。